

「教えて喜田先生！」子育てに悩む パパ&ママを応援！

学校法人喜田学園 通信制課程
東林館高等学校

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
- ◎受験対応個別指導コース
- ◎中学生コース・社会人コース

目的に合わせた幅広い学びを提供しています

福山市光南町1-1-35
TEL.084-923-4543
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

●解決策は3つ
解決策は具体的に3つあります。1つ目は叱らない夫を非難・否定しないこと。

そんな父親に対して、イライラして悲しくなるお母さん方のお気持ちはとても良くわかります。しかし、「主人」あなたも何とかしてよー」と感情論でいつかっても事態はよくなりません。逆に夫婦の関係性は悪化してしまいます。結果として、そのイライラをお母さんにつけてしまう危険性もあります。

お母さん方から「いつも私はかりが子どもを口うるさく叱り、夫は隣で知らん顔」という相談をいただきます。父親がお子様を叱らない理由はさまざまです。仕事が忙しく、たまにしか起きている子どもの顔が見れないから、叱りたくない。自分は親から厳しく育てられ、それがトラウマで叱れない。叱って嫌われることに強い恐怖感を感じる。単に面倒くさい。など、いろいろな理由で叱ることを回避しています。

叱りたくない父親の気持ちを理解できるところもありますが、「子どもを叱り方」は子育ての永遠のテーマ。ぜひご夫婦でこの課題にしっかりと向き合ってください。

●父親が大切にすべきこと
父親に大切にしてほしいことがあります。それは「母親だけを悪者にしないこと」です。誰だって我が子を叱りたくありません。それでも敗れて、子どもの将来を思って、叱っている場合がほとんどです。自分は叱ることもせず、お母さんに対して「それは言い過ぎだろう」という非難や否定は避けるべきであり、「ママ怒ってばかりで怖いね」なんて言うのはもってのほかです。それは「お母さんの顔に泥を塗る行為」です。

2つ目は頼ること。「あなたじゃないといけない」「あなたが言ってくれれば助かる」と伝え頼ることです。3つ目は叱る以外の選択肢の提示。「子どもを説得して」「私の愚痴を聞いて」と叱る以外の選択肢を提示することも大切です。



喜田 紘平

東林館高等学校 理事長
実践心理学カウンセラー

学び・自立支援を通して
子どもの未来を創ります